

## 協働評価シート

事業名		あかがねの道プロジェクト		実施年度	平成 29 年度
部 局		経済部	課 所	産業振興課	
団体等の名称		NPO 法人 さしあげプロジェクト			
評価項目				評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。（新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価）	団体等	A	
			市	A	
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B	
			市	B	
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	B	
			市	B	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	B	
			市	B	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>商店街の抱える課題を商業者だけの問題としてとらえるのではなく、今後当該エリアの活かし方をさまざまな立場や他地域に居住する方の関心を引くという部分において、体験型のあかがね土曜夜市や、昭和レトロパネル展は年代を超えての関心を持っていただいたと言える。</p> <p>夜市には毎土曜日に 3 週に渡り、多くの家族連れがゲームやそぞろ歩きし、空き店舗利用のお化け屋敷を楽しむ様子も見られた。また夜市のボラスタッフを公募したことで、参加した市内高校生、中学生には登り道商店街に来るのも初めてだという子もおり、町への愛着を生むきっかけ作りとしてよかったと思う。</p> <p>また昭和レトロパネル展では、写真を懐かしみながら家族に当時の様子を生き生きとした表情で詳しく説明する高齢者の姿が多くみることができた。</p> <p>オリジナル曲では、口ずさみやすく、またわかりやすい歌詞とメロディが市民協力により出来上がった。ぜひ在住の市民だけではなく、新居浜出身者にも新居浜への想いを誘えるものとして利用していきたい。機会をとらえては積極的に自主 PR を行い、コンテスト開催、コンテスト上位者の歌声は花火大会等で流すことも考えている。</p>
<p>市</p>	<p>土曜夜市では、市が先導するイベントとは違い、NPO 法人として培ってきたきたノウハウや交流関係を築いている団体などの出店など、身近に感じられるイベントとなった。</p> <p>また、写真パネル展においては、「はまさいフェスティバル」における展示や、市役所ロビー展における展示において、市民の皆さんににぎわいのあった商店街等の写真展示をすることで、なつかしみ、復活への期待感を持てるように広報できた。</p> <p>さらには、オリジナル曲においては、市内外に広まることを期待できるものとなった。</p>
<p>相互協議 結 果</p>	<p>協働事業を最大限活かすためには、もう少し広報に力を入れておけば、もっと市民が参加してくれたのではないかと感じている。</p> <p>事業実施は、NPO 法人としてのノウハウを最大限活用し、少ない事業費に対して様々な事業を実施することができたと思う。</p>